

4

特集 褥瘡対策チームにおける多職種間の相互理解と連携強化のために知っておきたいコト

A. 褥瘡治療と予防・管理に関する基礎知識とアップデート

褥瘡予防と治療・管理に関するスキンケアの基礎知識とアップデート

政田美喜

三豊総合病院 看護部、皮膚・排泄ケア認定看護師

Point

- ▶ 褥瘡管理におけるスキンケアの重要性を理解する
- ▶ 褥瘡管理における予防的スキンケアと治療的スキンケアを理解する
- ▶ MDRPU や IAD 発症予防・発生後の工夫的ケアを理解する

はじめに

褥瘡管理において、スキンケア・体圧分散・栄養状態の保持は褥瘡発生を予防するための重要なケアです。なかでもスキンケアは看護の基本的ケアであり、褥瘡に関連したことのみならず全身状態を把握するうえでも欠かせないケアの1つです。スキンケアは、褥瘡をつくらないための「予防的スキンケア」と褥瘡が発生してからの悪化させないための「治療的スキンケア」に区分して考えます。とくに、脆弱な状態の皮膚は、皮膚障害の発生リスクが高く、外力や摩擦・ずれが加わると皮

膚の損傷が簡単に起こってしまいます。褥瘡発生好発部位はもちろんのこと、医療機器装着部位の皮膚や、失禁状態でおむつ使用中の患者の皮膚管理は、褥瘡管理を行ううえで重要な看護・介護ケアといえます。本稿では、適切な皮膚管理を行うためのスキンケアの基本的知識、また褥瘡発生を予防するうえでの予防的・治療的スキンケアの方法を、医療機器装着部の皮膚管理や排泄管理も含め、実際のケアについて症例を通して述べることにします。

適切なスキンケアのために皮膚の役割を知る

褥瘡管理におけるスキンケアには、脆弱皮膚の低下した生理機能を補うための「予防的スキンケア」と褥瘡発生後の創治癒を促進するための環境調整および創傷ケアの延長である「治療的スキンケア」があります。ただ、ケアは特別なものではなく、スキンケアの基本は変わりません。高齢者に多く、褥瘡へ移行しやすい失禁関連皮膚炎 (IAD)・スキン-テア・医療関連機器圧迫創傷 (MDRPU) など、発生要因を見きわめ、皮膚の状態に合わせたスキンケアを提供することが重要です。適切なケアを考えるうえでも皮膚の解剖・病態生理の熟考は欠かせません。

皮膚の役割

皮膚は内臓の鏡であるといわれており、身体において最大の臓器といっても過言ではありません。たとえば、炎症性腸疾患のように疾患の増悪により皮膚病変が現れることがあります。言わば、皮膚は全身のバロメーターとしてたくさんの情報を発信しています。したがって、褥瘡を全身で読み取り、適切なスキンケアを展開するためには皮膚の役割を理解しておくことが重要です。その皮膚の構造は、図1に示すように表皮・真皮・皮下組織の3つに分かれ、外界から体を保護するバリア機能を持ち、このバリア機能が破綻するとさまざまな弊害へとつながります。

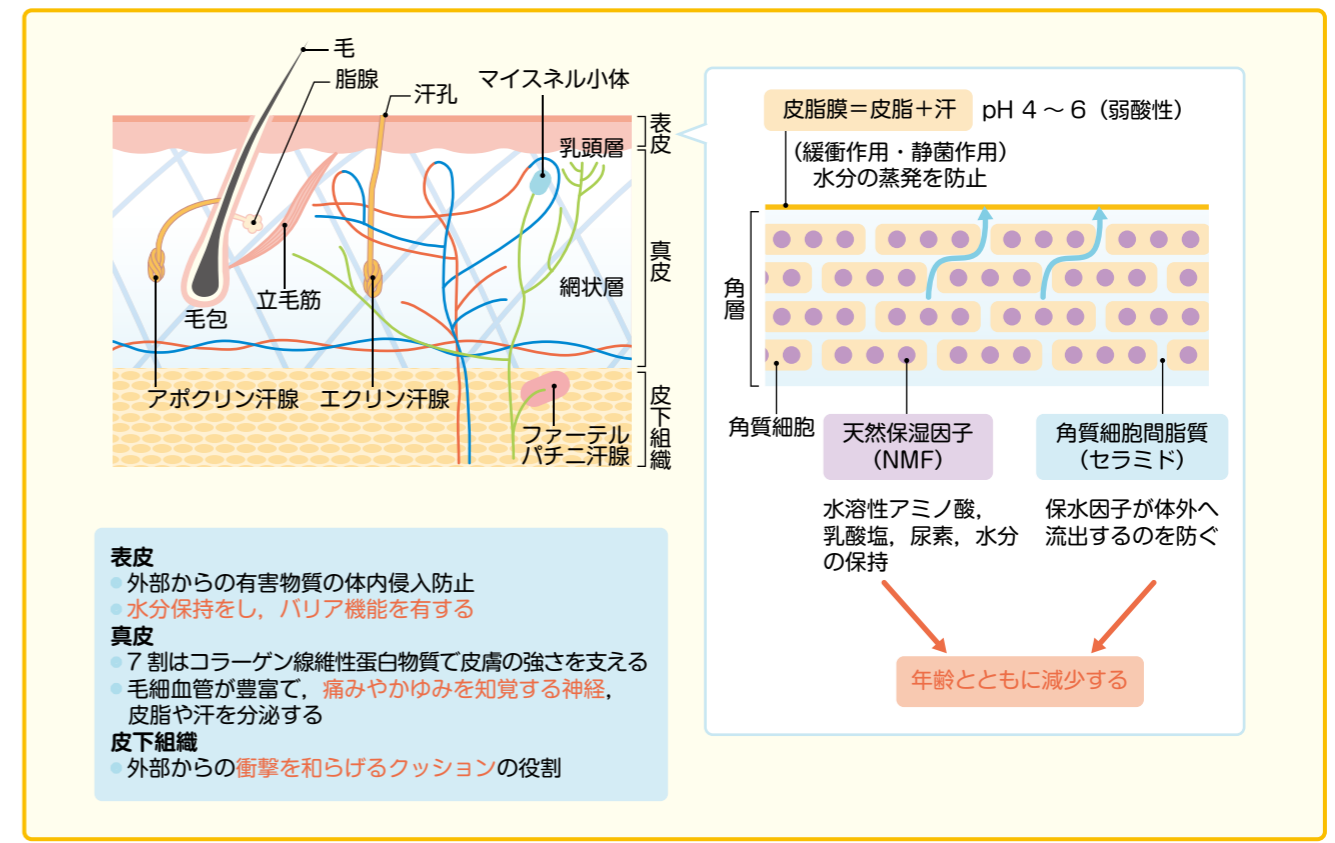


図1 皮膚の構造と役割